

令和4（2022）年度 三重森林管理署の重点取組事項

林野庁近畿中国森林管理局三重森林管理署は、国有林の公益性を重視した管理経営と森林・林業の再生への貢献を柱としつつ、国有林が持つ組織、技術力、資源を活かし、木材の安定供給、路網の整備、低コスト林業に向けた取組を実践するとともに、民有林との連携を積極的に展開していきます。

1 公益重視の管理経営の一層の推進

地域資源の循環利用を図りつつ、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全等公益的機能の維持増進を旨とし、森林整備事業や治山・林道事業の計画的かつ効率的な実施、保護林等の保全・管理を通じて、公益林として適切に管理経営を行います。

(1) 計画的な森林整備

森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、立地や林分の状況などに応じた適切かつ効率的な施業により多様で健全な森林づくりを推進します。そのため、森林吸収源対策として必要な間伐、条件の有利な育成単層林における主伐・再造林や、天然力の活用も含めた育成複層林への誘導等に取り組みます。

また、森林整備に当たっては、少花粉スギのコンテナ苗の使用と併せ、一貫作業の推進や成長に優れた苗木の活用、植栽本数の低減、下刈りの見直し等低



誘導伐の実施（悟入谷国有林）



林業機械による集材作業（悟入谷国有林）



森林作業道作設（悟入谷国有林）



獣害防護柵の取組（福王山国有林）

コスト造林に資する取組に積極的に取り組むとともに、効率的な施業の実施に必要な路網の整備を推進します。

(2) 治山対策の推進

集中豪雨等によって被災した山腹崩壊地等の早期復旧を目指すとともに、過密化した保安林の整備等により山地の防災力の向上を図ります。

令和4(2022)年度は、平成23(2011)年9月の台風12号により発生した山腹崩壊及び溪流荒廃を復旧するため、松阪市の千石平国有林や大台町の大杉谷国有林において、治山対策を進めます。



令和3年度山腹工 施工前（大又国有林）



令和3年度山腹工 完成（大又国有林）

(3) 生物多様性の保全

ニホンジカの食害からトウヒやウラジロモミなどの大杉谷国有林の貴重な森林生態系を保全するため、平成24(2012)年度に策定した「大杉谷におけるニホンジカによる森林被害対策指針」に基づき、引き続き森林被害の拡大防止と森林再生に取り組めます。

具体的には、ネット巻付による単木的な樹木保護や入山者への普及啓発のため巡視等を行うとともに、植生が衰退し土砂の流出のおそれが高い箇所においては、金網製の防護柵でニホンジカの侵入防止を図るパッチディフェンスを行い、地域性苗木(注)を植栽することによって森林植生の回復を図っていきます。

また、シカ個体数管理を実施する観点から、平成26(2014)年度から誘引捕獲実証を実施し、その結果を踏まえ、平成28(2016)年度から大杉谷国有林（大台町）でシカの捕獲事業に取り組んでいます。



森林の衰退状況（地池林道終点付近）

注：その地域に自生している樹木から採種され、採種場所や採種月日など履歴(トレーサビリティ)が確かな苗木



パッチディフェンス

さらに、令和3(2021)年度から「国立公園と国有林の連携事業」のひとつ

として位置づけており、環境省と連携しつつ効率的、効果的にシカの捕獲事業を進めています。

主伐・再造林を行っている悟入谷国有林等（いなべ市）では、平成30(2018)年度以降捕獲事業に取り組み、令和3(2021)年度からは地元自治体とも連携しながら推進しています。

2 森林・林業再生に向けた貢献

我が国の森林・林業の再生に向けて、国有林の組織、技術力、資源を活用し、立地や林分の状況などに応じ「新しい林業」の実践に向けた一貫作業の拡大や成長に優れた苗木の活用、植栽本数の低減、下刈りの見直し等の低コストで効率的な森林施業の実践、民有林と連携した森林整備の実施、森林・林業技術者や林業事業体の育成、林産物の安定供給等を通じて、民有林の経営に対する支援等に取り組みます。

(1) 森林経営管理制度を踏まえた民有林と連携した森林整備等の推進

民有林と連携した管理経営を目指す取組を引き続き推進するとともに、森林共同施業団地でのさらなる連携を通じて、隣接する民有林と一体となった路網の整備、計画的な間伐等の実施を推進します。

また、みえ森林・林業アカデミーによる林業の担い手等を育成する取組に対する支援や、森林経営計画の作成等を支援する民有林と隣接する国有林の境界検測等を推進します。

(2) 森林経営管理制度等を踏まえた民有林行政の支援の推進

国有林職員の森林総合監理士等による市町行政への技術的な支援に積極的に取り組みます。

また、将来の森林総合監理士への登録に向けた取組を推進するとともに、研修等へのフィールドの提供、講師派遣等を通じて、民有林における人材育成を支援します。

(3) 林産物の安定供給

搬出間伐等に率先して取り組み、地域の需要動向を的確に把握しつつ、林産物の持続的・計画的な供給に努めます。今年度は6,300^mの木材(一般材及びバイオマス原料用を含む)を生産し、地域の木材市場や製材工場等に供給します。

このうち、国産材の安定供給及び需要開発の観点から、「素材の安定供給システム販売」による供給を約7割とし、バイオマス発電の稼働により近年需要が増加しているチップ用にも供給します。



木材市場での委託販売 スギ（熊野市）



システム販売 一般材スギ（検知確認）

令和4(2022)年度の主な事業量(令和3(2021)補正+令和4(2021)当初)

【収穫・生産量】

区 分		数量 (m ³)	備 考
収 穫 量 (伐 採 量)	主 伐	52,368	
	間 伐	28,131	
	計	80,499	
素 材 生 産 量		(1,990) 6,300	()書は木質バイオマスで内数

【森林整備事業】

区 分	数量 (ha)	備 考
地 拵	0.4	大杉谷
植 付	13.5	悟入谷、福王山、大杉谷
下 刈	17.9	悟入谷、古野裏山、大杉谷、鍛冶屋又
除 伐	10.7	大又
間 伐	269.5	悟入谷、大杉谷、西谷
本数調整伐	—	

【林道事業】

区 分	路線数	路線名	数 量
新 設	1	縦木平	1,018m
改 良	3	東谷／千石平／御弁当谷	265m
林道災害	—		—

【治山事業】

区 分	件数	地区名	工種・数量
復旧治山(溪間工)	1	大杉谷	2基(50.6t)
復旧治山(山腹工)	1	千石平	0.26ha
防災林造成	1	七里御浜	1.80ha